

地方創生時代を生き抜く力をみんなの手で・・・

高森町の今と未来のために！

～しあわせタウンPLAN～

平成 30 年度 of 取組み及びお約束(マニフェスト)の自己評価

町長就任から 1 年が経過しました。多くの町民の皆さまにご理解、ご協力をいただき無事一年間町政運営を行うことができました。厚く御礼申し上げます。

この一年職員から町長へと立場が変わり、人口減少、少子高齢化、2027 年リニア開通、長野国体の開催など、多くの課題を抱える当地域においては、熊谷元尋前町長が堅実に一歩ずつ取組んでこられた、子育て、教育、福祉などの町民目線の事業実施の方向性がいかに難しく、重要であるかを改めて認識しました。その中で、自分らしさを発揮するには、私が町民の皆さまとお約束したマニフェスト 7 項目 23 事業について、限られた財源のあっても役場職員の理解と協力のもと、前に進めるしかないとの割り切り、一生懸命取り組んできました。特に、人材を育てることについては、2 度の総合教育会議を開催し、地域人材育成プランを小中学生へ導入することをお願いしてきたほか、リニアカフェなどの高校生の団体とのディスカッション、わかもの☆特命係へ自主的な活動の依頼、飯伊ビジョンの会を若手首長と設立し飯伊地域の産業界の皆さんとの懇談、信州たかもり熱中小学校開校による地域の皆さんと他地域の皆さんとの交流による学びなど精力的に活動をしました。また、職員に対しても、私の公約でもあり、これまで課題となっていた 3 つのプロジェクトへの参加をお願いし、自由な発想と人や企業などとの交流から事業提案を求めるとともに、企業、国、県などとも積極的に人事交流を行い、一人ひとりがまちづくりの担い手であることが自覚できるよう取組みを行っています。

私自身も出来るだけ町民の皆さまとお話できるように、また、きちんと現場を知ることができるよう努力し、説明会なども積極的に参加し、現場にも足を運びました。また、多くの自治体の事例を知ること必要であることから、先進的な取組みをしている自治体や友好都市などにも訪問し、日々勉強をさせていただいています。おかげさまで、こうした交流から知り合った皆さんとから得る見識が、今後のまちづくりの土台となることを実感しています。

このページでは平成 30 年度の主な活動内容とお約束 (マニフェスト) の自己評価シートを掲載しています。まだまだ、未熟な点が多く、ご不満も多いとは思いますが、残りの任期を高森町の発展と、町民の皆さまの幸せのために一生懸命努力しますので、ご意見・ご感想があれば寄せていただきたいと思います。

町民の皆さまには、今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。

令和元年 5 月

高森町長 壬 生 照 玄

◇予算査定を公開で行いました！！

平成 30 年度予算では課題になっている 5 事業を、平成 31 年度予算では 9 事業を公開査定に付しました。

参加された町民の皆さんからは、「予算作成の過程が分かりやすい」と非常に好評でした。今後も分かりやすい行政経営に努めます。



◇3つのプロジェクト！！

若手職員の育成も含め、若手職員による 3 つのプロジェクトを始動しました。各プロジェクトでは未来のまちづくりを自分たちで考え、12 月に町長対しプレゼンを行いました。

① 美しい段丘を！

高森町の段丘はそのほとんどが土砂災害警戒区域に指定されています。竹林は非常に水害に弱いため、伐採を計画的に行い、時間をかけて樹種変換を行います。平成 31 年度は吉田古城周辺の整備を行いながら、「古城桜」を活かす、魅せる段丘林整備を行います。

② パノラマ農園

遊休荒地、アグリ交流センターの有効活用などが課題となっている出原・正木地区の千早原は、パノラマ観光農園構想を地域の皆さんから提案いただいています。

実現に向け「まるごと農園観光」をテーマに、トライアルツアーなども実施しました。

平成 31 年度は若手職員の提案を元に地域の皆さんと一緒に検討を重ね、トライアルツアーなども実施します。

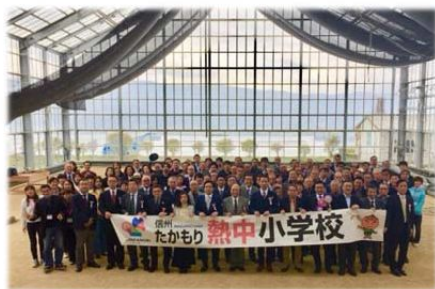
③ 川まちづくり計画

2027 年長野国体のカヌーの競技場として手をあげていた、山吹駒場河原は国有地がほとんどです。カヌー競技場を含め賑わいの場所とするためには、国の許可が必要です。そこで国と協力しながら川まちづくりの認定を受けることとしました。平成 30 年度は協議会を立上げ、若手職員の提案を元に検討を始めています。

平成 31 年度国の認定を得るためカヌー競技場の設計などを始めます。また、併せて国体でビーチバレーの誘致も検討します。

◇信州たかもり熱中小学校

大人の社会人学校、信州たかもり熱中小学校を開校し、2 期 12 回の授業を行いました。多くの世界的な講師の元、計 180 名の皆さんが学ばれました。多くの部活動なども誕生し、来期も期待できます。皆さんのご参加をお待ちしています。



◇女性活躍・子ども子育て拠点施設「あったかてらす」オープン

5 月 5 日こどもの日に、子育て支援センター、母子保健センターと、女性の就業支援などを兼ね備えた、新しい子育て支援施設「あったかてらす」がオープンしました。6 月には隣地に「高森レディースクリニック」もオープンし、連携した子ども子育て支援が始まっています。

おかげさまで、町内外から多くの皆さんがご利用をいただいています。



◇VC 長野トライデントとホームタウン協定を締結！

平成 30 年度からバレーボールプロ 1 部リーグに昇格した、南箕輪を本拠地とする「VC 長野トライデント」とホームタウン協定を締結しました。

飯伊地域の小中学生バレーボール教室などを通じ、スポーツで地域活性化を行います。



◇信州大学と包括協定

信州たかもり熱中小学校にご協力をいただいている信州大学と地域づくりに対する包括協定を締結しました。

- ①学術研究に関すること
 - ②地域の文化振興に関すること
 - ③地域の産業振興に関すること
 - ④教育、生涯学習に関すること
 - ⑤医療、健康、福祉、子育てに関すること
 - ⑥自然、景観保全に関すること
 - ⑦防災、環境保全に関すること
 - ⑧その他両者が必要とする事項
- 以上8項目についてですが、既に市田柿振興や文化財保護、小中学生の夏休みの過ごし方、健康などについて、信州大学と一部競技を始めています。



◇国会議員の皆さんと懇談

平成31年度予算編成に向け、議員の皆さんと国会に要望活動などを行いました。

衆議院宮下一郎代議士には、国土交通省水管理の皆さんにお願いしていただき、衆議院議員会館で、川まちづくりの勉強会を一緒に行っていました。参議院議員吉田博美議員とは、国会内の自由民主党参議院議員幹事長室で、同宮島喜文議員とは参議院会館面会をしていただき、新年度公共事業に向けた予算要望などを行いました。



◇わかもの☆特命係を任命！

平成30年度も若者のまちづくり参画を目的に、大学生(4名)、短大生(8名)を「わかもの☆特命係」に任命しました。SNSにより高森町の情報発信をいただいている他、都市部などでのイベント参加、六大学野球では恒例の「かもかも会議」を開催しました。

◇みらい懇談会(中学生)、みらい議会(小学生)を開催

小中学生がまちづくりを知るきっかけづくりの一つとして、みらい懇談会(中学2年生)、みらい議会(小学6年生)を開催しました。私からは、意見を言いっぱなしにすることなく一緒に自ら行動する、気づきを放っておかない事をお願いしました。新年度は中学生が3プロジェクトに参加します。



◇阿部長野県知事と懇談！！

阿部守一長野県知事とリニア開通に向けた協議を行い、平成31年度より飯田市と北部5町村でリニア駅近郊の土地のゾーニング、将来像を検討することになりました。(県予算)その際あったかテラスで子育て中の皆さんと懇談、熱中小学校で講演をいただきました。



◇高森温泉 湯ヶ洞・御大の館にバイオマスボイラーを導入

燃料費、水道費など固定費が経営を圧迫していた高森温泉に、バイオマスボイラーを国の補助金を受けて導入しこの2月から稼働しています。燃料は飯伊森林組合から、製材の際に発生する端材の切削チップを活用しています。化石燃料を利用しないためCO2削減による温室効果ガス抑制に非常に効果があり、経済的にも原油価格の変動に左右されないため安定しており、大きな効果が期待できます。



地域資源の有効活用

高森町 高森町牛牧の目黒川に、6000立方メートルのバイオマスボイラーを国助成を受けて導入し、この2月から稼働しています。燃料は飯伊森林組合から、製材の際に発生する端材の切削チップを活用しています。化石燃料を利用しないためCO2削減による温室効果ガス抑制に非常に効果があり、経済的にも原油価格の変動に左右されないため安定しており、大きな効果が期待できます。

木質バイオマスボイラーが稼働

高森町牛牧の目黒川に、6000立方メートルのバイオマスボイラーを国助成を受けて導入し、この2月から稼働しています。燃料は飯伊森林組合から、製材の際に発生する端材の切削チップを活用しています。化石燃料を利用しないためCO2削減による温室効果ガス抑制に非常に効果があり、経済的にも原油価格の変動に左右されないため安定しており、大きな効果が期待できます。

平成 31 年度高森町予算の概要

平成 31 年度予算の一般会計予算の総額は 68 億 3,000 万円、対前年比 1 億 8,500 万円の減額です。予算には町長としての公約に基づくまちづくりの方針を全施策に加えるとともに、地域に根差した人材育成・人づくりを軸として、時代にあった改善を図っています。

◇コミュニティ組織育成支援事業 551 万円

町民主体のまちづくり活動を応援するため、町民住民税の 1%にあたる 5,420 千円を助成する制度をはじめます。

◇UI ターンと地元就職促進事業 355 万 4 千円

中学校保護者向け進学・就活セミナーや高校生対象のインターンシップ事業を新規に行います。国・県の制度を活用した移住就業・起業支援事業補助金を創設します。

◇わかもの活躍推進事業 80 万円

わかもの特命係をはじめ、地域の若者の様々な活動（高校生による地方創生会議など）を応援します。町内に就職した新社会人の交流会を行います。

◇子ども・子育て支援事業計画推進事業 287 万円

子ども子育て会議において、町内保育園 5 園を 4 園にすることに決まりました。新しい保育園を適地に建設し、老朽化が進んでいる吉田保育園、みつば保育園を廃園する方向で保護者の皆さまにご理解を得てまいります。併せて、保育園の建替え改修のスケジュールを明確にしていきます。

◇公共交通運行事業 1,106 万円／

福祉バスから地域公共交通（有償）に変更します。2020 年度からの本格運行を目指し、10 月から新しい公共交通の実証実験を開始します。

◇寿タクシー事業 1,680 万円

77 歳以上で運転免許証のない方を対象に外出支援を行う「寿タクシー」の実証実験を 7 月からはじめます。（町内のみ、基本半額）

◇パノラマ農園推進事業 186 万円

出原千早原地域の滞在型農業パーク構想への取り組みについて、地元の皆さまを応援しつつ、若手職員も一緒に検討します。

◇私有林造成支援事業 1,340 万円

景観保全や有害鳥獣対策を目的に、城坂竹林などの段丘林の整備を継続します。併せて、吉田古城の整備を進めます。

◇天竜川かわまちづくり事業 438 万円

天竜川の水辺空間を活用した賑わい創出の実現を目指し、整備のマスタープランとカヌーコースの概略設計を行います。

◇工業団地等整備事業 6 億 3,906 万円

下市田産業用地における企業誘致のための土地購入や造成などを行います。

◇総合計画を見直します！

高森町では、振興総合計画（7 ヶ年計画）、地方創生総合戦略（5 ヶ年）計画を基に、事業評価などを行い「見える化」に取り組んできました。しかし、予算の公開査定などを通じ、まだまだその事実そのものが町民の皆さんに浸透しておらず、そもそもの計画もわかりづらい状態であったため、これまでのベースを維持しつつも、リニア新時代に向け、分かりやすい計画に見直すこととしました。

新年度は 21 地区で開催しているまちづくり懇談会を 5 月下旬から 7 月にかけて開催し、全地区に私自身が参加し、計画づくりについて意見交換を行います。

また、計画づくりは、全役場職員で行い、職員一人ひとりが未来のまちづくりの担い手であることを自覚し、職員から町民の皆さんに提案する手法を取入れます。

◇広域行政

①アリーナ施設

広域連合で検討をしている、コンベンションセンターは、他地域との差別化を図るため、アリーナ施設を設置する方向にまとまりつつあります。今後はスケジュールと施設規模、施設などの担い手について検討を進めます。

②国道 153 号拡幅

飯島町、中川村、松川町と勉強会を行ってきました。

今後は、県や広域とも連携し、国の災害時などの重要物流道路としての指定と、勉強会を期成同盟会に格上げし、具体的な事業化を目指します。

【この件に関するお問合せなど】

高森町役場総務課経由 〒399-3193 長野県下伊那郡高森町下市田 2183 番地 1

電話：0265-35-9402 FAX：0265-35-8294 E-Mail：info@town.nagano-takamori.lg.jp

1、町民の皆さんとお約束内容

項目① 未来を担う子どもたちが、地域を「考え」「好き♡」になるプロジェクト

- ◇小学生には、地域の人材を活用した高森町ならではのコミュニティスクールを展開します。
- ◇中学生には、地域のことを考え、課題解決に向かう生徒会活動を人的・金銭的に支援します。
- ◇高校生・短大生・大学生などには、「飯田下伊那 100 計画」「わかもの☆特命係」を中心に、地域のまちづくりを知る活動やイベントを応援します。地域の就職支援として、農業・企業へのインターンシップ事業を研究します。

項目② 「もういちど 7 歳の目で世界を」信州たかもり熱中小学校（平成 30 年 4 月開校）

- ◇全国展開中の熱中小学校は、学びのテーマから事業展開までを自分たちで考え行動する社会人学校です。アグリ交流センターの跡地利用と併せ、大人も学び成長する事業を継続します。

2、取組状況など

項目	年度	実施内容及び課題	事業費(千円)	担当課
①	2018(H30)	◇小学校コミュニティスクールは、信州型で実施。主に、北小学校ではホタルの飼育、南小学校では市田柿の学習が主軸。そもそも信州型は地域の評価などを除いた簡易のコミュニティスクールのため、外から活動、人的支援やそれらを評価するシステムの構築が必要。学校サイドでは教科教育中心で、地域学習などへの時間を割くことに未だ抵抗があり、調整が課題。	28	教育委員会
		◇生徒会が自主的に活動するまでには到っていないが、みらい懇談会において新 3 年生に町での 3 プロジェクトの取組みなどを紹介したことで、新年度総合的学習で取扱うことが決定。また、自発的に中学でのいじめ防止の取組みを、他校にも広げたいとのことから、新年度北部地区 5 中学校でいじめを考える会を行うことになった。	300	教育委員会
		◇今年度町が任命した「わかもの☆特命係」は 14 名（県外 5 名、女子短 12 名）。独自開催の若者会議のほか、町のイベントや事業の協力を得ることができた。また、町の Facebook、Twitter、Instagram などにも積極的に情報提供を行っていただき、これまで以上に活動に幅がでてきた。インターンシップについては制度設計及び実施計画を検討。次年度実施予定。	98	産業課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
②	2018(H30)	◇信州たかもり熱中小学校は 4 月 14 日(土)開校。全 2 期のコースで実施（1 期 103 名、2 期 85 名）。町内外から多くの参加者を迎え、上半期では事務局の発案で荒廃地でのそば作り、下半期からは部活動や運動会、音楽会など、学びながら楽しむ生徒の自主的活動も増え、活動の幅が飛躍的に広がった。	15,474	総務課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

※事業費は決算額を記載しています。

3、プラン全体の自己評価

年度	事業成果及び自己評価		出来形
2018(H30)	事業の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校には総合教育会議などを通じ、教育委員、学校長と懇談を行い、今後のまちづくりや若者（児童生徒）への期待などを含め、地域学習、コミュニティスクールなどの改革を依頼し、学校も新たな取組みなど検討を始めるに到った。 ●熱中小学校については、県内各地に広がる生徒同士の交流や全国の他の熱中小学校の事務局、生徒などとの交流が広がり、関係人口の増加につながり、一定の成果を感じている。 	25.0%
	自己評価	人が育つことに対する成果を図ることは 1 年の事業実施では困難だが、私自身も今まで以上に、各地の首長、行政職員など多くの皆さんから様々な行政運営のヒントを貰うことが多く、交流と積極的な学びの重要性を再認識している。地道な継続が必要。	

2019(R01)	事業の成果など		
	自己評価		
2020(R02)	事業の成果など		
	自己評価		
2021(R03)	事業の成果など		
	自己評価		

1、町民の皆さんとのお約束内容

項目① 町民活動を支援する 1%システム

継続できる自治組織に向かい、町民が支える公共活動団体（地域、ボランティア、NPO など）の育成及び支援を目的に、町民住民税の 1%を助成する制度を作ります。

2、取組状況など

項目	年度	実施内容及び課題	事業費(千円)	担当課
①	2018(H30)	◇制度設計及び実施計画を検討。当初は下半期から予算執行を予定したが、町から出ている他の補助金などとも整理する必要があり制度設計に時間を要した。次年度より実施予定。	0	総務課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

※事業費は決算額を記載しています。

3、プラン全体の自己評価

年度	事業成果及び自己評価		出来形
2018(H30)	事業の成果など	●当該年度での事業実施はできなかったが、制度設計時には担当課などとの懇談を行い、地域課題の解決のためのボランティア活動であっても無償のボランティア活動では持続しないことや、今町が抱えている課題の整理などを行うことができた。	10%
	自己評価	担当が制度設計をしていただいた交付要綱に基づき、次年度から事業を開始するが、予算額を執行することに注力するのではなく、当初の目的どおり町民の自主性や活動の公共性などきちんと判断することが必要で、多くの皆さんから納得していただける補助事業になるよう、事業実施に向け説明責任を果たしたい。	
2019(R01)	事業の成果など		
	自己評価		
2020(R02)	事業の成果など		
	自己評価		
2021(R03)	事業の成果など		
	自己評価		

1、町民の皆さんとのお約束内容

項目① 読書で「こころ」を育む！

南北小学校全クラスに学級文庫及び蔵書を整備し、一人年 100 冊読むことを目標にします。

項目② 健康な「体」づくり

特に朝食習慣に目を向け、保育園、小中学校で朝食習慣 100%を目指します。

項目③ 女性活躍、働き方改革を研究

出産や介護などが仕事のハンデにならないよう、地域事業者の働き方改革を検討します。

項目④ 保育園の統合、建替え、民営化の研究

統合保育園、民営化への研究を行います。

項目⑤ グローバル人材の育成

リニア新時代に向け、子育て支援センター、保育園で外国語に触れる機会を研究します。

小中学校で充実した英語教育ができるよう、民間事業者と協力して体制を整えます。

2、取組状況など

項目	年度	実施内容及び課題	事業費(千円)	担当課
①	2018(H30)	◇南北両小学校では、一年に 100 冊を目標に取組みを行った。 北小 85.1 冊（前年度データなし）、南小 169.7 冊/人（+35.2 冊）	1,510	教育委員会
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
②	2018(H30)	◇夏休みには小学生を対象に「子どもの料理教室」を実施。また、(株)タニタヘルスリンクに依頼し、あったかテラスで食育祭りを開催し、タニタ食堂の料理などを紹介した。朝食習慣、中学 94.4%（+0.65）、北小 94.2%（△0.35）、南小 96.4%（+0.6）、保育園 97.0%（△1.25）	1,049	健康福祉課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
③	2018(H30)	◇5月5日に女性活躍子ども子育て支援センター「あったかテラス」をオープン。 コワーキングで在宅ワークセミナーを開催。（豊丘村と共同事業） ◇町内の事業所における、現在の働き方や女性の働き方に関するアンケート調査を実施し、結果報告と傾向などについて事業所の皆さんと共有した。	PLAN6-① に記載 2,300	産業課 産業課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
④	2018(H30)	◇これまで子ども子育て会議において、老朽化が進む吉田、みつば保育園の改築の必要性までは協議されてきていた。当該年度は、人口推移なども含め、今後の公立保育園の在り方の検討を行い、町内 5 保育園を将来的には 4 保育園にすることを決定した。	156	教育委員会
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
⑤	2018(H30)	◇子育て支援センター、保育園での外国語に触れるイベントなどは未実施。 小学校においては、町費で民間事業者に委託し、3・4年生の英語学習を実施。	1,500	教育委員会
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

※事業費は決算額を記載しています。

3、プラン全体の自己評価

年度	事業成果及び自己評価		出来形
2018(H30)	事業の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ●当該年度は、2017(H29)から整備を進めていた「あったかテラス」がオープン。また隣地では高森レディースクリニックが開業した。あったかテラスの運営には両者の協力体制も構築でき、就学時前の子育て支援は今まで以上に充実することができた。今後も、この施設を拠点に子育て支援事業を充実することで、各種指標への効果も期待できる。 ●読書習慣などは、学校の協力体制を得て実践したが、南北小学校での取組みに差が出てしまっている。一方単純に本の冊数を競うのではなく、学令に合った本や興味のある本を読むことで自己表現力や文章読解力につながるため、今後の取組み方を検討する必要がある。 ●保育園についても子ども子育て会議で1園減の方向性を提示していただき、今後早急に、改築計画を進める必要がある。 ●今年度は小学生の英語教育を実施したが、民間事業者と学校との連絡調整や授業の進め方については課題もある。 	25.0%
	自己評価	子育て施策全般には、町（町長）の意向だけではなくそれを直接運営実施する、支援センター、保育園、学校などとの綿密な打合せや連絡調整、何より保護者の理解が必要と強く感じた。今後も、担当課とともに、私自身も直接説明し理解を求めることに注力したい。	
2019(R01)	事業の成果など		
	自己評価		
2020(R02)	事業の成果など		
	自己評価		
2021(R03)	事業の成果など		
	自己評価		

1、町民の皆さんとのお約束内容

項目① 福祉バスの見直しとシェアタクシーの検討

町内のタクシー会社とも相談し、福祉バスからシェアタクシーなどへの移行を研究します。

項目② お年寄りの終の住み家を研究

高齢者向け住宅などの施設整備を民間事業者と協働して行います。

項目③ 介護保険のお世話にならない、健康長寿

特定健康診断、歯科検診などの受診率向上を目指します。

2、取組状況など

項目	年度	実施内容及び課題	事業費(千円)	担当課
①	2018(H30)	◇他自治体が運営する公共交通との連携、また複雑で分かりづらい福祉バスの解消を目的に、5月8日地域公共交通問題協議会を設立し全4回の会議を実施。町民アンケートを実施。まちづくり懇談会においても重点的に協議を行い、町内全体を右回り、左回りで周回するコミュニティバス及び通勤、通学に駅へ接続するバス路線にすることを決定。新年度10月より実証実験を行う。	741	総務課
		◇体が不自由で運転免許を有しない方を対象に、おでかけタクシー券24,000円を7月に公布。該当者104名。3月末現在の利用率は約7割。 ◇次年度後期からは、上記コミュニティバス運用により福祉バスほどきめ細やかな路線運用ができないため、77歳以上で運転免許を有しない方を対象に、町内の移動のみ上限1,000円でタクシーを利用できる「寿タクシー事業」を実施する。今後は、寿タクシーをシェアして乗車していただけるよう、シェアタクシーの運用方法の確立を(株)北部タクシーと協議していくことが必要。	2,587	健康福祉課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
②	2018(H30)	◇医療法人円会により、牛牧地籍に認知高齢者グループホーム(定員9名)の建設が実施。次年度6月より受入れを開始予定。	37,589	健康福祉課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
③	2018(H30)	◇特定検診受診率は現段階では推計値54.0%。2017(H29)年度60.9%。 ◇歯科検診受診率22.9%(+8.6)。向上しているが、若年層を中心に受診率は低い傾向。	5,894	健康福祉課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

※事業費は決算額を記載しています。

3、プラン全体の自己評価

年度	事業成果及び自己評価		出来形
2018(H30)	事業の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ●懸案であった福祉バスについて、地域公共交通、タクシー事業など一定の方向付けをすることができた。説明会なども通じ、概ね町民の皆さんの理解も得られていると判断している。 ●グループホームについても新施設により当面の待機者解消につながっている。 ●検診受診率は向上傾向だが、全体割合はまだ向上の余地あり。 	50.0%
	自己評価	地域公共交通は、実証実験を通じ多くの皆さんに利用していただき、利用者の声を丁寧に反映していく必要がある。検診率の向上については、町長としての町民への呼びかけなどが不足していたと感じる。次年度はきちんと対応したい。	
2019(R01)	事業の成果など		
	自己評価		
2020(R02)	事業の成果など		
	自己評価		
2021(R03)	事業の成果など		
	自己評価		

1、町民の皆さんとのお約束内容

項目① リニアガイドウェイ製作工場の整備と周辺の土地利用

周辺の工業用地と併せて未来にわたり有効活用されるよう、企業誘致を進めます。

項目② 美しい河岸段丘を・・・

河岸段丘は高森町の「宝」です。竹林の伐採、広葉樹への樹種の変更など計画的に行います。

項目③ 滞在型の農業公園を整備（アグリ交流センター周辺のパノラマ農園）

民間事業者呼びかけ、四季を通じての滞在型農業パークとしての修景デザインを進めます。

項目④ 山吹駒場河原への「川の駅」、2027年長野国体を見据えたカヌー競技場の誘致

山吹国道 153 号東の駒場河原を活用し、長野国体なども考慮した賑わいの場所づくりを進めます。

項目⑤ タウンプロモーション

SNS やテレビなどのメディアを利用した CM や番組への売込みを行い、高森町を発信します。

2、取組状況など

項目	年度	実施内容及び課題	事業費(千円)	担当課
①	2018(H30)	◇下市田河原約 15ha を産業用地に転用。当該年度において 3 社より申し出があり、農免農道西側 4ha を分譲することが決定した。また、これまで JR 東海と協議を進めてきたリニアガイドウェイヤードも、さらに拡張希望があり、残り約 10ha を利用できるように調整をはじめた。	134,913	産業課
		◇新産業用地の整備に向け、関東・中京圏の企業に対し、アンケート調査を実施	2,430	
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
②	2018(H30)	◇役場若手職員で誘客などを考慮しプロジェクトを結成し検討を開始。 ◇下平城坂約 1.5ha で試験的に竹の伐採を計画し実施したが、急斜面で竹が混雑しすぎており、予定事業費+aで 0.5ha、1/3 の事業しかできないことが判明。そもそも個人所有の土地に対し行政がどの程度まで関わるのか、その後の維持管理をどうするのかなど課題は多い。	7,884	産業課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
③	2018(H30)	◇役場若手職員で誘客などを考慮しプロジェクトを結成し検討を開始。 ◇町としての構想を地権者、地元提案できるように、民間事業者に修景デザインを委託。地元の皆さんとワークショップなどを実施し、農園そのものを観光できる「農園観光」の方向性をまとめた。今後ゾーニングなどを作成予定。	1,179	産業課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
④	2018(H30)	◇役場若手職員で誘客などを考慮しプロジェクトを結成し検討を開始。 ◇駒場河原は国有地となるため、占用して利用できるよう天竜川河川事務所とも相談を行い「川まちづくり事業」を申請することを決め、川まちづくり協議会を設立。若手のプロジェクトなどの提案を元に検討を開始。併せて、浜松河川国道事務所とも協力し「関係人口」についてのセミナーを開催するなど、天竜川を上下流で新たな資源として活用して行くことなどのきっかけ作りも行うことができた。今後、公設で整備する範囲と民間事業の導入、費用など町民の皆さんの理解を得ることが必要。 ◇長野国体カヌー競技にエントリーし概ね当該地を利用する方向で決定していると聞いているが、発表は未定。その後、当該地でビーチバレーを開催する提案もあり調整中。	137	建設課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

5	2018(H30)	◇公式 Instagram、ゴミ分別アプリ「さんあーる」を開始。ホームページ内の町長の部屋を新たにし、Facebook ページを利用したことで、町長の活動報告なども充実した。フォロワー数: Facebook・406 件、Twitter・1,780 件、Instagram・437 件、YouTube・109 件、子育てアプリ・441 件。情報発信の方法が多様化している中で、求められている情報などを、どのように掲載するかが課題。	3R : 156 HP : 2,468 子育て : 389	総務課
		◇信越放送により、高森町の子育て、熱中小学校の番組 30 分×2 本を放送。	2,000	
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

※事業費は決算額を記載しています。

3、プラン全体の自己評価

年度	事業成果及び自己評価		出来形
2018(H30)	事業の成果など	<ul style="list-style-type: none"> ●土地利用計画による産業用地について、地元や地権者、耕作者のご理解により、当面の利用方法などの方向性が明確になったことは大きな成果。今後は粛々と事業を進める。 ●段丘林、パノラマ農園、川まちづくりは若手職員の検討課題としてプロジェクトチームを編成し、今後を担う若い職員がまちづくりについて真剣に検討していることは、町にとって大きな成果。それぞれ結果も伴っている。 ●ホームページ、SNS、スマホアプリなど充実してきている。様々な形で情報を提供する努力は評価して欲しい。こうした活動の中で、マニ研の中村先生の紹介で三好町の佐久間氏の講演を通じ、捨てられない充実した広報誌などアナログ素材の大切さに目を向けることができた。 	30.0%
	自己評価	<p>地方創生時代に、当面の人口の奪い合いをすることに目が行くより、リニア新時代に向けて高森町の知名度を向上させるとともに、新たな町の強みを作り、関係人口の増加を目指すことが大切。当該年度では職員の意識付けが必要と考えていたが、職員それぞれが理解を示し、3 プロジェクトも含め努力してくれている。今後は事業の方向性も含め町民の皆さんに理解を求めていきたい。一方、求められている情報や見たいと思う情報提供には課題が多い。町民の皆さんが気軽に町のサイトなどを利用して情報発信できるようにするなどの検討を続けたい。</p>	
2019(R01)	事業の成果など		
	自己評価		
2020(R02)	事業の成果など		
	自己評価		
2021(R03)	事業の成果など		
	自己評価		

● PLAN6

地域の共通課題は、枠にとらわれない広域連携で取り組みます

1、町民の皆さんとのお約束内容

- 項目① 豊丘村と共同発注の在宅ワークシステムのさらなる広域連携
 項目② リニア新時代に向け、広域連携による観光公社などの法人化（DMO）
 項目③ リニア長野県駅周辺への国際大会規格のアリーナ施設の誘致
 項目④ 国道 153 号の 4 車線化を要望

2、取組状況など

項目	年度	実施内容及び課題	事業費(千円)	担当課
①	2018(H30)	◇在宅ワークセミナーは2年目を迎え、当該年度からあったかテラスも利用。1年目の卒業生が指導に当たりチーム編成もできてきている。町からもテープ起こしなどの業務を依頼。北部町村に活動を紹介してはいるが、広域化などには到っていない。	3,796	産業課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
②	2018(H30)	◇南信州観光公社は地域 DMO に認定。広域の中で高森町がどのように DMO に関わって行くのかが課題。	0	産業課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
③	2018(H30)	◇南信州広域連合ではコンベンションホール、アリーナ施設の両面で候補地を募集し、高森町でも下市田河原を候補地として挙げた。しかしこうした施設を整備する目的や活用方法、資金面など課題が多く、外部も含め住民団体などからも意見を求め、他地域での計画も少なく、コンベンションホールはエスパード、飯田文化会館の改築計画もあることから、多目的に活用ができるアリーナ施設を整備する方向でまとまった。次年度住民説明を経て、規模や民間事業者の導入も含め検討を重ねる。	0	総務課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
④	2018(H30)	◇飯島町の伊南バイパスは当該年度より供用開始。伊南バイパス以南からリニア長野県駅間については未計画。飯島町、中川村、松川町、高森町の4町村で、飯島町本郷から高森町下市田間の拡幅改良について勉強会を始めた。次年度には期成同盟会を編成し、国県に要望を行うこととした。	0	建設課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

※事業費は決算額を記載しています。

3、プラン全体の自己評価

年度	事業成果及び自己評価		出来形
2018(H30)	事業の成果など	●全項目において課題の認識と解決に向かう方向で話合いが進んでいる。	25.0%
	自己評価	広域の課題は高森町だけでは解決が難しいもの。町長として1年目で言いづらいことも多いが、きちんと理解を求め、首長同士が話合いを重ねることで、少しずつでも前に進めることができると実感できている。	
2019(R01)	事業の成果など		
	自己評価		
2020(R02)	事業の成果など		
	自己評価		
2021(R03)	事業の成果など		
	自己評価		

1、町民の皆さんとお約束内容

項目① 予算査定を公開します

予算はどのように決まるのか。予算査定を町民の皆さんの傍聴により公開します。

項目② ICT 環境を整備し行政効率を向上させます

公共料金のコビニ収納、役場文書などの電子化、役場事務所の改修などを進めます。

項目③ 皆さんとお約束をチェックします

町民の皆さんとの直接対話を増やし、公約や事業の評価をおこないます。(PDCA を廻します。)

2、取組状況など

項目	年度	実施内容及び課題	事業費(千円)	担当課
①	2018(H30)	◇予算査定において 4 事業を公開。①農産物加工施設、②パノラマ農園、③段丘林の整備、④子どものインフルエンザ接種	0	総務課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
②	2018(H30)	◇行政効率を上げることで町民の皆さんと向かい合う時間を増やすことを目的に、まずは 5S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ) に取り組むこととし、庁内に副町長をリーダーとする 5S 委員会を設置し、当該年度中は整理、整頓の 2S を重点的に実施。併せて、公共料金コビニ収納、諸証明のコビニ交付などの検討を開始。また、文書分類表の点検などによる文書管理システムの導入なども検討開始。	0	総務課
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			
③	2018(H30)	◇予算査定の公開、まちづくり懇談会の方法の見直し、各種事業の説明会への出席など積極的に町民の皆さんと対話を実施。公約の自己評価シートを作成。	0	-
	2019(R01)			
	2020(R02)			
	2021(R03)			

※事業費は決算額を記載しています。

3、プラン全体の自己評価

年度	事業成果及び自己評価	出来形
2018(H30)	事業の成果など	25.0%
	自己評価	
2019(R01)	事業の成果など	
	自己評価	
2020(R02)	事業の成果など	
	自己評価	
2021(R03)	事業の成果など	
	自己評価	